

新 風

2004

久留米工業大学同窓会会誌

第7号



平成16年第2回オープンキャンパスにて（実施日8月7日）

久留米工業大学同窓会

〒830-0052 久留米市上津町2228 久留米工業大学内

電話 0942 (22) 2345



第7号新風発刊に寄せて

同窓会会長 近藤 満 幸

皆様、元気で御活躍の事と思います。本年は平和の祭典アテネオリンピック大会が行われ、日本選手の活躍に喜び興奮・感動された方も多いと思います。

さて本年は新しく同窓会名簿を作成する事といたしました。前回より7年が過ぎ新名簿作成が急がれていました。正確で信頼される名簿を目標に作成したいと思います。皆様の御協力を御願い致します。また新名簿を十分に活用され同窓生の活躍等を御確認下さい。

大学も新しく根本實学長を迎え充実した教育環境を目指し増々発展するでしょう。厳しい社会状況で有りますが皆様の御協力を是非共御願い致します。「新風」も発刊7号となり新しい紙面とし今後より立派な会報誌となる様努力したいと思います。皆様の情報等をお寄せ下さい。

最後となりましたが、皆様の御健勝と御活躍を心より御祈り致します。



学長挨拶

学 長 根 本 實

20世紀における科学技術と経済の高度成長のおかげで私たちは便利さと物質的な豊かさを手に入れましたが、現在の社会状況をみると、バブルの崩壊とその後の長い低迷、グローバル化による国際競争の激化と産業の構造変化、財政危機、少子高齢化、資源・環境問題など、わたくしたちの将来展望を不透明にする課題が多発し、豊かさを実感できない状況になっています。

しかし、このような閉塞感を切り開くのが教育であり、科学技術であり、現在の若者たちのはずです。「米百俵」にはじまる教育重視については一時期たいへん話題になりましたが、いろいろな構造改革問題にかくれ、最近では忘れられてしまっているかにみえます。しかし、厳しい国家財政の中にもかかわらず、科学技術基本計画にしたがって科学技術振興関係の予算は伸び続け、また本年4月の国立大学法人化にみられるように、明治百年以来の大改革といわれる高等教育の改革は静かに進んでいます。

私は、本年四月、高松学長の後任として就任しました。以来、これからの本学の重点課題として、まず第1に教育の充実、第2に科学技術教育を支える研究の高度化・活性化、第3は地域との連携、地域への貢献、そして第4は本学からの情報発信を挙げてきました。大学としてはこの4つの課題のバランスある改善、充実が必須ですが、その中でも教育の充実・改革を最重点課題ととらえています。たしかに少子化の影響で経営的にはどの学校も厳しさが増していますが、この時期こそ各々の学校が社会から要請されている使命を再確認し、個性化、活性化、高度化をはからなければなりません。そしてすべての変革の基本は、教育のため、学生のためにを原点として考えています。

創立40周年を間近にひかえ、本学の一層の充実をめざすためには卒業生の皆様のご助言が不可欠です。卒業生の皆様のご健康とご活躍をお祈りすると同時に、学校へのご支援を心から御願い申し上げます。

新学長のプロフィール

1938年東京生まれ。

1965年東北大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学。工学博士。専門は材料工学。東北大学助手、講師、助教授をへて1982年九州大学教授、1999年佐世保工業高等専門学校校長。日本金属学会副会長、日本鉄鋼協会副会長、国立高等専門学校協会理事・第二常置委員会委員長、沖縄高専創設準備委員会、文部省学術審議会専門委員、文部科学省・今後の国立高等専門学校の在り方に関する検討会委員などを歴任。平成16年4月より現職。日本金属学術功労賞をはじめ受賞多数。発表した研究論文は現在でも世界中で頻繁に引用されている。

第28回愁華祭を終えて

第28代愁華祭実行委員会委員長 久末英志



11月1日・2日に第28回愁華祭を開催しました。今年の学園祭は、例年とは違った学園祭になったと思います。

まずはじめにあげられるのは、学園祭とオープンキャンパスを同時に行ったということです。学校側と協力し、たくさんの高校生に御来学していただいて、とてもよかったと思います。

その他にも、はるばる鹿児島県の与論町からお越しいただいた「町琉球舞踊教室」の小・中学生総勢8名による琉球舞踊の披露は、学生はもちろん、地域の方々にも大変好評でした。

次に地域の方々の御協力により毎年恒例になった、のぞえ、ゆのそ町内会による写真・工芸等の作品展示と駄菓子・野菜の出店の出店です。毎年のことながら協力していただいて大変感謝しております。

4つ目に、大学の学園祭では、とても珍しいと思いますが、今年は福岡農業高校から生徒さんにきてもらい、高校の実習で収穫したミカンやさつま芋等の販売をしていただきました。私もミカンを食べたのですが、とてもおいしかったです。ぜひ来年も販売してほしいです。

今まで紹介させていただいた方々の協力があったからこそ、愁華祭が賑わったと思います。もちろん学校側や学友会の協力してくださった皆様には、大変感謝しております。ありがとうございました。

話は変わりますが、来年の愁華祭は実行委員の人数が不足しているため、少しでも実行委員に興味がある方は是非、見学にいらしてください。お待ちしております。

最後に何度も繰り返しますが、愁華祭に協力していただいた皆様、どうもありがとうございました。



平成16年度役員会報告

常任幹事 林 佳彦

本学同窓会役員会が、平成16年6月28日(月曜日)午後6時30分からハイネスホテル久留米において、役員12名の出席のもと開催された。役員会は、近藤満幸会長の挨拶により始まり、平成15年度活動報告および決算報告、平成16年度活動案および予算案さらに、平成16年度役員について審議され下記の通り承認された。さらに、会員名簿作成の進行状況および今後の予定について報告された。

その後、各役員との親睦を深めるため懇親会を開催し、その席で、近藤会長より母校の創立40周年を記念して総会を開催したいとの発言があり、今後総会等の記念行事について検討することになった。

平成15年度活動報告(平成15年4月～平成16年3月まで)

- 平成15年4月 後援会と共同で入学お祝いの看板作成
- 5月 会員名簿への加入者(390名)データ追加
- 6月 役員会開催(久留米ハイネスホテル)
- 10月 会員名簿作成業者との打ち合わせ開始
- 新加入予定者(454名)へ加入願いと終身会費の納入願い送付
- 大学祭への援助(大学祭実行委員会へ30万円寄付)
- 平成16年3月 小野高速印刷(株)と会員名簿出版及びデータ管理請負契約調印
- 「卒業おめでとう」を卒業生へ配布
- 卒業のお祝い看板作成(後援会と共同)
- 卒業生が送付するレタックス送料の援助

平成15年度決算報

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

《収入》

科 目	収入(円)
終身会費	4512,820
雑収入	220
繰越金	40,656,147
収入合計	45,169,187

《支出》

科 目	支出(円)
大学への寄付行為	335,730
運営費支出	435,613
事務費支出	82,425
パソコン関連維持費	39,480
終身会費納入依頼経費	19,440
予備費	52,710
次年度繰越	44,203,789
支出合計	45,169,187

平成16年度活動(平成16年4月～平成17年3月まで)

- 平成16年4月 後援会と共同で入学お祝いの看板作成
 5月 会員名簿への加入者(454名)データ追加
 6月 役員会開催(久留米ハイネスホテル)
 7月 終身会費未納者への再請求
 10月 新加入予定者へ加入願いと終身会費の納入願いつ付
 大学祭への援助
 大学祭の案内はがきを送付(母校近隣の会員約1,200名)
- 平成17年2月 終身会費未納者への再請求
 3月 「卒業おめでとう」を卒業生へ配布
 卒業お祝いの看板作成
 卒業生が送付するレタックス送料の援助

同窓会会員名簿作成の進行状況と今後の予定

- 平成16年6月末 会員各位に調査票送付
 8月中旬 電話確認調査開始(約2ヶ月間を予定)(第2調査)
 10月 2次調査確認票を封書で送付(会報誌を同封)
 11月 印刷準備
 12月 各掲載項目の最終確認開始
- 平成17年1月末 印刷完了
 2月上旬 会員名簿発送

平成16年度役員

顧問	根本 實 (学長)	幹事	藤木 禮作 (短自43)	幹事	原田 憲司 (大磯61)
〃	喜多村 禎勇 (理事長)	〃	陣内 久始 (短自43)	〃	牛島 晃司 (大磯63)
〃	岩崎 司 (事務局長)	〃	井上 利明 (短自43)	〃	小野 弘之 (大建元)
〃	芹野 正幸 (参与(学生担当))	〃	中村 金次 (短自43)	〃	小路口 心二 (大電元)
会長	近藤 満幸 (短自43)	〃	中園 正彦 (短設51)	〃	瀬戸口 英樹 (大電09)
副会長	古賀 秀信 (大交54)	〃	中原 賢勝 (大建54)	会計	正岡 秀仁 (大交63)
〃	丸田 祐之 (大交55)	〃	宮崎 嘉久 (大交54)	〃	高西 賢二 (大交58)
常任幹事	小嶋 剛 (短自46)	〃	中島 隆 (大建54)	監査	中尾 幸平 (大磯56)
〃	林 佳彦 (大磯56)	〃	山木 秀行 (大建55)	〃	池田 秀 (大交57)
幹事	三股 哲 (短自43)	〃	竹村 真一 (大磯58)	書記	池田 秀 (大交57)

教職員人事移動(平成14年5月～平成16年4月まで)

(新任者)

学長 根本 實 事務主事 白山 信孝
 教授 深野 徹 事務主事 山下 様子
 助手 中村 美紗

(退職者)

学長 高松 康生 助手 柴田 和昭
 教授 高椋 大 助手 春日 正徳
 教授 倉本 康夫 事務局次長 山下 聖夫

事務局からの連絡

(担当 常任幹事 林 佳彦)

平成18年に母校久留米工業大学の創立40周年を迎えます。本会では、これを記念して、小野高速印刷(株)に委託して会員名簿を発刊することにしました。お手元に調査票をお持ちの方は、早急に事務局までご返送ください。また、委託業者が電話調査を行う場合がありますので、業者名を確認のうえご協力ください。さらに、その他にも40周年記念行事を計画していますので、皆様方のご支援をお願いします。最後に、ご意見、ご質問等がありましたら本会事務局までご連絡ください。

TEL 0942 (22) 2345 久留米工業大学同窓会事務局

平成16年度予算

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

《収入》

科目	収入(円)
終身会費	4,771,200
雑収入	1,000
繰越金	44,203,789
収入合計	48,975,989

《支出》

科目	支出(円)
大学への寄付行為	200,000
学生活動補助支出	900,000
運営費支出	750,000
事務費支出	150,000
パソコン関連維持費	200,000
終身会費納入依頼経費	30,000
会報誌発刊費	800,000
会員名簿発刊補助金	1,000,000
予備費	200,000
次年度繰越	44,745,989
支出合計	48,975,989